

平成29年度決算状況 「株式会社秋川総合開発公社」 「新四季創造株式会社」

株式会社秋川総合開発公社

株式会社秋川総合開発公社は、昭和63年に設立された資本金1億円の株式会社で、主な業務として、あきる野ルピアの管理などを行っています。出資団体は、あきる野市、あきる野商工会、秋川農業協同組合などです。なお、発行済株式総数2,000株のうち、1,100株をあきる野市が保有しています。

○事業概要 平成29年度は、あきる野ルピアの管理業務、テナントの管理運営、管理組合関係の運営業務などを行いました。売上高は、複合ビル関係収入など1億1,002万円で、経常利益は757万円です。また、当期純利益は739万円です。

○資産概要 平成29年度末の会社の資産総額は、1億8,107万円です。資産の内訳は、現金や預金などの流動資産が4,116万円、建物などの固定資産が1億3,991万円です。負債は、預り保証金などの流動負債が2,302万円、固定負債では長期借入金などが7,176万円です。この結果、純資産は8,629万円です。

貸借対照表

(資産の部) 流動資産+固定資産	1億8,107万円
(負債の部) 流動負債+固定負債…①	9,478万円
(純資産の部) 株主資本…②	8,629万円
負債・純資産合計(①+②)	1億8,107万円

新四季創造株式会社

新四季創造株式会社は、平成18年に設立された資本金2,000万円の株式会社で、主な業務として、温泉施設の管理と運営などを行っています。出資団体は、あきる野市、あきる野商工会、秋川農業協同組合、あきる野市観光協会などです。なお、発行済株式総数400株のうち、204株をあきる野市が保有しています。

○事業概要 秋川渓谷瀬音の湯及び秋川渓谷戸倉体験研修センターの管理・運営を行いました。売上高は、瀬音の湯事業においては、温泉、宿泊、レストランなどの収入、戸倉体験研修センター事業においては、レストラン、収穫体験などの収入により、3億9,644万円で、経常利益は470万円です。また、当期純利益は383万円です。

○資産概要 平成29年度末の会社の資産総額は、1億5,591万円です。資産の内訳は、現金や預金などの流動資産が1億2,535万円、器具備品などの固定資産が3,056万円です。負債は、未払金などの流動負債で6,846万円です。この結果、純資産は8,745万円です。

貸借対照表

(資産の部) 流動資産+固定資産	1億5,591万円
(負債の部) 流動負債…①	6,846万円
(純資産の部) 株主資本…②	8,745万円
負債・純資産合計(①+②)	1億5,591万円

※貸借対照表は、決算時点(平成30年3月31日)で会社(公社)が保有する資産、負債などの財政状況を示したものです。

市有財産の状況

- 土地面積(学校敷地など)…714万2,733㎡
- 建物面積(庁舎など)…19万7,078㎡
- 自動車保有台数(消防車両27台を含む)…90台
- 出資金などの現在高…9,787万円
- 基金の現在高…40億9,006万円

市債の状況

市債の目的		市債の現在高	
一般	土木債(道路などの整備のために)	36億5,178万円	
	衛生債(保健センターなどの整備のために)	27億954万円	
	教育債(学校や図書館などの整備のために)	25億2,167万円	
	総務債(庁舎などの整備のために)	18億868万円	
	商工債(観光施設などの整備のために)	5億227万円	
	消防債(消防施設の整備のために)	2億3,587万円	
	民生債(保育所などの整備のために)	1億6,093万円	
	計	臨時財政対策債※1(財源確保のために)	138億1,223万円
		減税補てん債※2など(財源確保のために)	5億5,751万円
	計		259億6,048万円
下水道事業特別会計(下水道の整備のために)		203億869万円	
合計(①)		462億6,917万円	
平成28年度末現在高(②)		483億2,930万円	
差し引き(①-②)		△20億6,013万円	

※1臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

※2減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

(参考)一部事務組合の借入金などで、当市が将来的に負担すべき額

区	分	現在高
一部事務組合	阿伎留病院企業団	43億1,095万円
	西秋川衛生組合	28億5,451万円
	秋川流域斎場組合	1億7,419万円
合計(①)		73億3,965万円
平成28年度末現在高(②)		72億1,942万円
差し引き(①-②)		1億2,023万円

健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)と資金不足比率を算定し、公表することが義務付けられています。あきる野市は、いずれも基準以下となりました。

健全化判断比率

- 実質赤字比率…一般会計などの赤字の標準財政規模に対する比率
- 連結実質赤字比率…戸倉財産区特別会計を除く全会計の赤字の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率…実質的な公債費(全会計の公債費のほか、一部事務組合の公債費に対する負担金など)の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率…一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

健全化判断比率 (単位: %)

区	分	あきる野市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	12.69	20.00	
連結実質赤字比率	赤字なし	17.69	30.00	
実質公債費比率	8.5	25.0	35.0	
将来負担比率	51.5	350.0		

○資金不足比率 公営企業会計における資金不足額の事業規模(料金収入)に対する比率

資金不足比率 (単位: %)

区	分	あきる野市	経営健全化基準
下水道事業特別会計	資金不足なし	20.00	

- 発表者(発表順、敬称略): 田邊みお(秋多中)、立石糸(五日市中)、尾又杏佳(東中)、清水太陽(増戸中)、青田美憂(西中)、陶山愛嘉(御堂中)、高橋昂汰(菅生高校中等部)、山内遥大(御堂中)、平野詩織(秋多中)、石川実伶(西中)、水尾春翔(菅生高校中等部)、萩原樹(五日市中)、加藤琉花(増戸中)、榎戸りお(東中)
- ▽小学生の人権メッセージ発表: 市内小学校の代表5人の児童が人権メッセージを発表しました。
- ▽中学校の紹介展示(ポスター): 市内中学校の特色ある取り組みや、中学生のボランティア風景などのポスター展示を実施します。
- ▽問合せ: 生涯学習推進課 生涯学習係(直通)558-243

▽日時: 12月1日(土) 午後1時55時(予定)

▽場所: 秋川キララホール

▽中学生の主張大会: 市内在住・在学の中学生(応募者1179人)の中から選ばれた14人が発表します。



平成30年度 あきる野市教育の日 第23回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会